みまさか・まにわ 作州ワイド版

夜空彩る大輪2500発

落合納涼花火大会 家族連れら魅了

夏の夜空を彩った花火

落合納涼花火大会（実行委、真庭商工会、真庭市主催）が29日、同市落合垂水の旭川河川敷で開かれた。2500発ほどの花火が夏の夜空を彩り、観衆約4万5千人（主催者発表）を魅了した。

日暮れ前から、家族連れや浴衣姿のグループが訪れ、歩行者天国になった会場周辺で屋台巡りを満喫。日が沈むとごう音とともに、赤や黄色、青といった色鮮やかな大輪が上空で咲き乱れた。観衆はうっとりと見上げたり、写真を撮ったりしながら楽しんでいた。

落合納涼花火大会（実行委、真庭商工会、真庭市主催）が29日、同市落合垂水の旭川河川敷で開かれた。2500発ほどの花火が夏の夜空を彩り、観衆約4万5千人（主催者発表）を魅了した。

日暮れ前から、家族連れや浴衣姿のグループが訪れ、歩行者天国になった会場周辺で屋台巡りを満喫。日が沈むとごう音とともに、赤や黄色、青といった色鮮やかな大輪が上空で咲き乱れた。観衆はうっとりと見上げたり、写真を撮ったりしながら楽しんでいた。

家族5人で訪れた鏡野町立鶴喜小4年田元美空琉さん(9)は「大きな音にびっくりしたけど、カラフルできれいだった」と喜んだ。

大会は1932年に始まり、戦争や水害などで中断された時期を経て今年が73回目。（原本洋輔）

硬式野球で白熱プレー

美作ボーイズ大会 県内外中学16チーム競う

県内外の中学硬式野球チームが争う「第11回美作市長杯美作ボーイズ大会」（美作ボーイズ主催）が29、30日、美作市中山の美作野球場などであり、選手たちが白熱した試合を繰り広げた。

県内をはじめ京都や広島、愛媛など7府県から16チームが出場。開会式に続き、選手は4会場に分かれ、トーナメントで戦った。

地元の美作ボーイズは1回戦で、岡山北ボーイズと対戦し、得点を重ねるも逆転できず4－6で敗れた。

結果は次の通り。

1回戦 岡山北6－4美作、瀬戸内7－2小野、川之江7－1倉敷中央、鳥取7－3東岡山、岡山1－0浜田、姫路3－1安芸高田、倉吉1－0金光、神戸甲南3－1京都東山▽2回戦 岡山北7－3瀬戸内、川之江2－0鳥取、岡山9－4姫路、神戸甲南3－2倉吉▽準決勝 岡山北7－2川之江、神戸甲南2－0岡山▽決勝 神戸甲南6－0岡山北（大橋孝平）

開会式で選手宣誓をする美作ボーイズの坂元新主将

リズムジャンプを

美作市教委が導入検討 指導者向け初の講習会

美作市教委は28日、児童生徒の体力向上を目的に導入を検討している「リズムジャンプ」の初めての講習会を、同市中山のみまさかア

津田准教授（左）の指導の下、リズムジャンプを楽しむ参加者

外国人旅行客対応を学ぶ

飲食店関係者ら 岡山でセミナー

岡山、真庭市、吉備中央町など、イスラム

ご存知ですか？ちゅうぎんカードローン

0120-608-997 ローンは クイックな
受付時間 平日9時～20時 土・日・祝日・休日9時～17時
※1月1日～1月3日・5月3日～5月5日を除きます。
※お電話でお申込みの場合は、当行キャッシュカードをお持ちの方に限ります。
※キャッシュカード・運転免許証をご準備のうえ、お電話ください。
ご融資金額 10万円～500万円
ちゅうぎんカードローン
検索
※ご利用は計画的に

一筆書きの列車旅 岡山

③ 津山駅→岡山駅

大雨の中 備前焼の里巡る

「晴れ女」を自負するが、さすがに今回は雨を覚悟した。台風3号が昼過ぎに岡山に近づく。

列車の本数の都合で、JR津山駅を午前5時26分に出る姫新線に乗った。二つ先の美作大崎駅（津山市）は、マムシ除けや安産で知られる福力荒神社（同市福力）の最寄り駅。ホームから鳥居が見える。参拝し道中の無事を祈った。まけばマムシが寄りつかないという「御浄砂」も販売しているようだ。雨がぽつぽつ降り始めた。

次の列車まであと1時間。駅のベンチでうつらうつらしながら過ごした。

午前7時17分発の1両編成は制服姿の高校生らで満員だった。それが勝間田駅でどっと降り、残った乗客も次の林野駅で下車した。兵庫県境に近い美作土居駅を過ぎると、列車は速度を落とし山の中の狭い隙間を進む。岩壁が左右に迫り、木々の葉が窓をこする。客は1人。車両最前部まで行き、ガラスに張り付いて外を眺めた。

■ ■ ■

全長158・1キロの姫新線。終着の姫路駅には佐用駅（同県佐用町）で乗り継ぎ、午前10時前に到着した。下りの山陽線を経由して相生駅から赤穂線へ。播州赤穂駅で乗り換え岡山県へ戻る。

美作大崎駅を出て4時間。「備前焼の里」の玄関口・伊部駅（備前市）に着くと雨は土砂降りだった。こんな日に恐縮だったが、案内をお願いしていた市に「備前陶器窯跡」と観光ボランティアガイド協会の会長・片山伸栄さん(68)と駅前で待ち合わせた。

大雨の中を5分ほど歩き、小高い丘のような場所へ。中世から近世にかけて備前焼が生産された共同窯跡の一つ「伊部南大窯跡」（同市伊部）。市内の他の二つの共同窯跡とともに「備前陶器窯跡」として国史跡になっている。

伊部南大窯跡には「東側」「中央」「西側」など5基の窯跡があり、最も大きい東側窯跡は全長約54メートル、最大幅は約5メートルに上る。

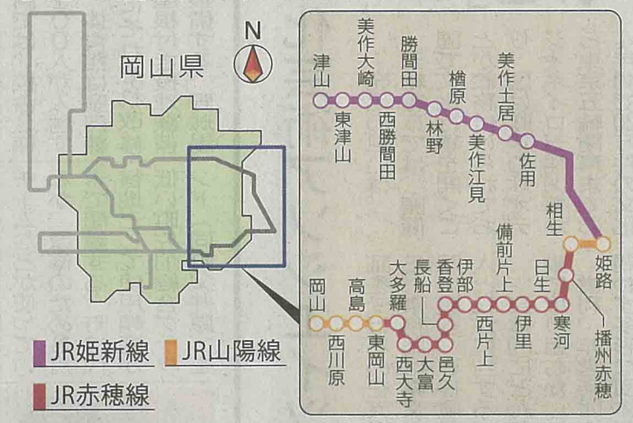
片山さんが「上に上がれば伊部の町並みが見渡せますよ」と教えてくれたが、雨で足場が悪くあきらめた。靴は泥土を練る。力を入れ、手で均一な軟らかさにしていく。木村さんいわく「土が完全に練られるまでには、毎日やっても3年かかる」。

■ ■ ■

「土ひねりを見てみましょう」と片山さん。向かったのは駅前にある窯元「桃蹊堂」（同所）。17代当主の木村桃山（本名・木村憲次）さん(75)が制作の様子を見せてくれた。まずぬれた服は乾いていた。

伊部駅内のカフェで昼食。片山さんがガイドになったいきさつなどを話してくれた。ガイド協会はできて13年目で片山さんは1期生。今は「月に少なくても5回以上」は引き受けている。「皆さんの喜ぶ顔がエネルギーじゃな」と目を細めた。

天候を考慮し、この先は途中下車せず岡山駅へ。この日の宿は岡山市北区奉還町のゲストハウスを予約してある。普段は取材で歩く奉還町商店街。大きなリュックサックを背負って通りを行けば、景色がいつもと違って見えた。（田村柚乃）



伊部南大窯跡。そこら中に陶片が散乱していた

制作の様子を見学させてくれた窯元「桃蹊堂」の木村さん

第1部 第2部 第3部 第4部